

【在るがまま、なすがままとは】

- 一見して不幸に見える事は、その者を本当の幸せにするために、『神』が悪いカルマを消すプログラムを発動して下さっているのですから、目先の出来事で善悪の判断をしてはなりません。
- 今、与えられている状況というのは、『神』のお仕組みなのです。
それを素直に受け入れることは、『神』から見たら可愛い事なのです。
- 不幸な状況の人を見て、可哀想だからという理由だけで、その者の人生に介入するという事は、『神』がその者に与えたプログラムの邪魔をしてしまう事になります。

『神』は、罪深い我々のカルマを消して靈層を高めて、肉体の有る人間全員が幸せ一杯になるように、御仕組みを下さっているのです。
“あるがまま、なすがまま”と言うと、“無気力無関心”な行為に感じられるかもしれません、決してそうではありません。
自分に愛情を持って言って下さる方の意見や、パッと閃いた事を素直に受け入れて、
その通りに、積極的に行動を起こす事でもあります。
何もかも受け身で接するという意味ではないのです。

【“愛情がある意見”と“愛情のない意見”の違い】

- 愛情がある意見 … 相手が自分を批判しない言い方
- 愛情のない意見 … 相手が自分を批判する言い方

30

【見て見ぬフリ、何もしてはいけない、について】

- 見て見ぬフリとは、一度は視線を送っていながら、その視線を逸らす状態の事を言います。
- また、分かっているのに知らないフリをしたり、聞いているのに聞えないフリをする事も、合わせて最低の事なので気付けましょう。
- 見て見ぬフリにならないためには、とにかく“視線を送り続ける”ことが重要です。